

## コグニザント、JG サミットの IT 最新化に向けた ServiceNow 導入およびマネージドサービス契約を発表

コグニザント（NASDAQ: CTSH）は、フィリピン最大級の多角的事業グループである JG Summit Holdings, Inc.（以下、JG サミット）の IT 最新化を支援するため、ServiceNow の導入およびマネージドサービスに関するプロジェクトを発表しました。

消費者向け食品、航空輸送、不動産など多種多様な事業を展開する JG サミットのような企業では、関連性のない業界をまたいで異なるビジネスモデルやサプライチェーン、サービス要件を管理する必要があり、オペレーションが複雑化しやすいという特有の課題があります。コグニザントは、統合された「ServiceNow AI プラットフォーム」を活用して、一貫性がありガバナンスの効いた IT プロセスを確立することで、このような複雑性の解消を支援します。

JG サミットは、ServiceNow AI プラットフォームの価値を最大化し、IT ワークフローとユーザーエクスペリエンスを向上させるため、専門的なアドバイスに基づいたアプローチと、それを共に推進できる戦略的パートナーを求めています。ServiceNow の深い専門知識とマネージドサービスの豊富な実績を誇るコグニザントは、コスト予測性を高め、将来的な拡張にも柔軟に対応できる透明性の高い「最適化（ライトサイズ）」モデルを採用し、マネージドサービス、ライセンス、導入、およびサポートを包括的に提供します。

本プロジェクトでは、主に以下の機能を導入し、IT プロセスの自動化とガバナンス強化を実現する統合プラットフォームを構築します。

- **IT Service Management (ITSM) Professional :**  
IT サービスプロセスの自動化と効率化
- **IT Asset Management (ITAM) :**  
ハードウェア (HAM) およびソフトウェア (SAM Pro) の資産追跡・管理
- **Strategic Portfolio Management (SPM) :**  
事業戦略に沿ったプロジェクト需要とポートフォリオのガバナンス

また、監査に対応できる一元的な IT 資産管理体制を整備し、を整備し、ソフトウェアライセンスや利用権の状況を可視化するとともに、事業の優先順位に沿ったプロジェクト管理の枠組みの導入を目指します。具体的には、「Hardware Asset Management (HAM)」と「Software Asset Management (SAM Pro)」を実装することで、ライセンス情報の整理や余剰ライセンスの再割り当てを通じたコンプライアンスの遵守、監査対応、コスト管理など、包括的な資産の可視化と制御をサポートします。

このソリューションは、システムの迅速な導入や技術的負債の削減を実現するだけでなく、将来のアップグレードにも安全に対応できる持続可能な設計となっています。さらに、モバイルファーストでのサービス提供を支援し、高度な自動

化やエージェント型 AI の活用に向けた「AI Ready」な基盤を確立します。これにより、JG サミットは将来的に大規模なシステムの再構築を行うことなく、次世代の ServiceNow 機能をスムーズに導入できるようになります。

さらに、「Strategic Portfolio Management (SPM) 」の導入により、事業戦略に沿ったプロジェクト案件の受付から、ポートフォリオの可視化、優先順位付けまでを一貫して行えるようになります。これにより、ガバナンスと透明性が向上し、リソースの有効活用が促進されます。また、JG サミットが自社で主体的な運用体制を確立し、長期的に管理していけるよう、本プログラムには実践的なトレーニングやナレッジ共有も組み込まれています。

JG サミット最高デジタルおよび情報責任者 (CDIO) のティナ・アルバレス氏は、「IT インフラをさらに進化させ、ガバナンスと透明性を強化しつつ、当社の全事業部門に対して、より迅速で信頼性の高い、安全なサービスを提供できることを大変期待しています。この統合プラットフォームの導入により、ユーザーエクスペリエンスをシンプルかつ快適なものに向上させると同時に、持続可能なイノベーションに向けた強固な基盤を築くことができます。」と述べています。

また、ServiceNow アジア担当グループバイスプレジデント兼マネージングディレクターメリッサ・リース氏は、「ServiceNow AI プラットフォームによる標準化という JG サミットの決断は、世界有数の複雑な事業環境を持つ企業群が直面する共通の課題を反映しています。すなわち、『多様な事業全体にわたり、一貫性とガバナンス、そして可視性をもたらす単一プラットフォームが不可欠である』ということです。この基盤が整うことで、JG サミットは適切な安全策を講じながら、全事業部門において AI を大規模に活用できる環境を手に入れることとなります。」と述べています。

コグニザント ASEAN および中華圏担当バイスプレジデント、トーマス・マシュー氏は、「JG サミットは非常に複雑なグループ経営を行っており、今回の提携では、単一プラットフォーム上で一貫性とガバナンスの効いたプロセスを確立することに重点を置いています。当社の役割は、ServiceNow の専門知識、マネージドサービスの実績、そして現地での強力なデリバリー能力を提供し、同社のガバナンス強化と業務の可視化を支援することです。これにより、JG サミットはステークホルダーへの価値提供という本来の目的に、より一層集中できるようになります。」とコメントしています。

## コグニザントについて

コグニザント (NASDAQ: CTSH) は、AI Builder およびテクノロジーサービスプロバイダーとして、お客様にフルスタックの AI ソリューションを構築することで、AI 投資と企業価値を結ぶ架け橋となっています。業界、ビジネスプロセス、エンジニアリングに関する当社の深い専門知識を活かし、組織固有のビジネス環境をテクノロジー・システムに組み込みます。これにより、人間の可能性を最大限に引き出し、確かな成果を実現するとともに、急速に変化する世界においてグローバル企業が常に一歩先を行くための支援を行っています。

詳細については、[www.cognizant.com](http://www.cognizant.com) をご覧いただくか、@cognizant をフォローしてください。

※本リリースは US 本社の [JG Summit selects Cognizant for ServiceNow implementation and managed services engagement](#) を翻訳したものです。

コグニザントジャパンの詳細は下記ページをご覧ください。

<https://www.cognizant.com/jp/ja/about-cognizant>